

令和4年第1回春日那珂川水道企業団議会定例会（第1日）

1. 出席議員（10名）

1番	白水祥太郎	2番	迫賢二
3番	真鍋昭洋	4番	田中夏代子
5番	川崎英彦	6番	野口明美
7番	吉永直子	8番	壽福正勝
9番	金堂清之	10番	上野彰

2. 欠席議員（なし）

3. 説明のために出席した者の職氏名（9名）

企業長	武末茂喜	副企業長	井上澄和
参与	小原博	参与	佐々木康広
局長	安藤敏洋	総務課長	平山幸生
浄水課長	光野吉成	施設課長	藤野哲
料金課長	中島勝巳		

4. 出席した事務局職員の職氏名（3名）

事務局長	山川誠治	書記	古賀大裕
書記	十時敬子		

5. 議事日程第1号

日程第1 会議録署名議員の指名

日程第2 会期の決定

日程第3 議案第1号から議案第3号の上程、提案理由の説明

6. 会議に付した事件名

議案第1号 令和3年度春日那珂川水道企業団水道事業会計補正予算（第2号）について

議案第2号 令和4年度春日那珂川水道企業団水道事業会計当初予算について

議案第3号 春日那珂川水道企業団監査委員の選任について

開会 14時00分

○金堂議長 皆さんこんにちは。

それでは、定足数に達しておりますので、ただいまから令和4年第1回春日那珂川水道企業団議会定例会を開会いたします。

直ちに本日の会議を開きます。

本日の会議は、お手元に配付いたしております議事日程第1号により議事を進めてまいります。

日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

1番白水祥太郎議員、2番迫賢二議員を指名いたします。

日程第2、会期の決定を議題といたします。

今次、定例会の会期は、本日、明日の2日間と決定したいと存じますが、これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○金堂議長 御異議なしと認めます。よって、今次、定例会の会期は、本日、明日の2日間と決定いたしました。

日程第3、今次、定例会に提出されております議案第1号から議案第3号を一括議題といたします。

提案理由の説明を求めます。

武末企業長。

○武末企業長 皆さんこんにちは。

本日、ここに令和4年第1回春日那珂川水道企業団議会定例会を招集いたしましたところ、議員各位におかれましては大変御多用のところ御出席いただき誠にありがとうございます。

さて、本日提出いたしております議案は、議案第1号から議案第3号までの3件でございます。

議案第1号は、令和3年度春日那珂川水道企業団水道事業会計補正予算（第2号）についてでございます。

収益的収入におきましては、長期前受金戻入の減額、水道料金、下水道の受託収益等による増額により2,375万6,000円を増額するものです。

収益的支出におきましては、公道漏水修理に伴う修繕費等の増額、委託料、新規水源に係る補償費等の減額により2,057万1,000円を減額するものです。

資本的収入におきましては、旧西隈ポンプ場用地及び後野配水場用地の一部の売却に伴

う固定資産売却代金の増額、消火栓工事に伴う工事負担金の減額により160万6,000円を減額するものです。

資本的支出におきましては、退職給付引当金繰入額等の増額、配水管布設工事に伴う工事請負費等の減額により2億839万3,000円を減額するものです。

議案第2号は、令和4年度春日那珂川水道企業団水道事業会計当初予算についてでございます。

水道事業収益の総額は31億2,165万9,000円で、前年度と比較しますと、営業収益、営業外収益ともに増収となっており、対前年度比約0.3%の増額となります。

水道事業費用の総額は28億4,396万8,000円で、主には公道漏水修理等の修繕費、補修工事に伴う設計委託料の増額、浄水場施設関連委託料の減額等により、対前年度比約0.9%の減額となります。

収益的収支の結果、令和4年度の税抜き後純利益は1億9,993万6,000円となります。

次に、資本的収入の総額は3億7,002万2,000円で、対前年度比約6.0%の増額となります。これは、工事負担金及び出資金の増額によるものです。

資本的支出の総額は14億9,697万2,000円で、対前年度比約5.8%の増額となります。これは、主に配水管布設替え工事等に伴う工事請負費の増額によるものです。

その結果、資本的収支の不足額は11億2,695万円となり、内部留保資金等で補填いたします。

議案第3号は、春日那珂川水道企業団監査委員の選任についてでございます。

これは、監査委員の任期満了に伴い、若木隆自氏を後任の監査委員に選任することについて、地方公営企業法第39条の2第5項の規定により議会の同意を求めるものです。

上程いたしました議案は、いずれも水道事業運営上、極めて重要な案件でございます。何とぞ慎重に御審議の上、御議決賜りますようお願い申し上げまして、提案理由の説明を終わらせていただきます。

なお、詳細につきましては担当課長から補足説明をさせますので、よろしく願い申し上げます。

○金堂議長 企業長による提案理由の説明は終わりました。

次に、補足説明を求めます。

平山総務課長。

○平山総務課長 総務課長の平山でございます。それでは、議案第1号から議案第3号について補足説明をさせていただきます。

まず、議案第1号令和3年度春日那珂川水道企業団水道事業会計補正予算（第2号）に

ついてでございます。

資料のほうの32ページを御覧ください。

A3横の部分になりますが、令和3年度補正予算（第2号）と題した資料をつけております。こちらによって説明を行います。

上のほうが収益的収入及び支出、下のほうが資本的収入及び支出となっており、それぞれ左側が収入、右側が支出となっております。

まず、上のほうの収益的収支についてでございます。

収入の部、水道事業収益におきまして2,375万6,000円の増額を予定しております。営業収益におきまして給水収益1,964万8,000円の増額、こちら水道料金収入でございます。その他営業収益26万6,000円の増額、下水道使用料の受託収益の件数増によるものでございます。

営業外収益におきまして、長期前受金戻入313万1,000円の減額、その他営業外収益639万8,000円の増額、特別利益57万5,000円の増額、こちらは福岡県の道路拡幅工事に係ります当企業団の遊休地の売却による固定資産売却益でございます。

次に、右側の支出でございます。水道事業費用におきまして、2,057万1,000円の減額を予定しております。

営業費用の原水及び浄水費884万8,000円の減額、委託料それから修繕費、補償費等によるものでございます。

次の配水及び給水費1,433万円の増額、修繕費等によるものでございます。

業務費59万9,000円の減額、貸倒引当金繰入額の減額によるものでございます。

総係費698万7,000円の減額、人件費、旅費それから研修費等によるものでございます。

議会費66万円の減額、旅費等の視察に伴う経費の減によるものでございます。

減価償却費1,320万1,000円の減額、資産減耗費2,525万1,000円の減額でございます。

これらの収支によりまして、営業外費用の消費税及び地方消費税2,040万1,000円の増額となります。

それから、次の特別損失24万4,000円の増額、こちらのほうは福岡県の砂防事業に係ります当企業団の所有地の一部売却による固定資産の売却損でございます。

枠外の右側を御覧ください。

収益的収支の収入31億3,719万7,000円、支出28億876万1,000円、収支差引き額3億2,843万6,000円となり、税抜き後の純利益は2億7,528万8,000円となります。既決予定額との差額が6,306万3,000円の増となります。

次に、下の段のほうになります。

資本的収入及び支出についてでございます。

収入におきまして160万6,000円の減額、内訳としまして、工事負担金236万4,000円の減額、固定資産売却代金75万8,000円の増額。

次に、右側の支出でございます。

建設改良費におきまして、2億839万3,000円の減額を予定しております。

建設改良費のうち水源浄水場施設整備費6,400万7,000円の減額、こちら委託料、補償費等の減額が主なものとなっております。

配水施設整備費1億4,115万円の減額、こちらは委託料、工事請負費の減額が主なものとなっております。

諸設備費323万6,000円の減額、量水器の出庫数等によるものでございます。

枠外の右側を御覧ください。

資本的収支。収入が3億4,733万円、支出12億547万2,000円、差し引きますと8億5,814万2,000円の不足が生じます。これにつきましては、その下に記載しておりますように、消費税資本的収支調整額5,186万7,000円、過年度留保資金等の8億627万5,000円で補填をいたします。

次に、議案第2号の補足説明を行います。令和4年度春日那珂川水道企業団水道事業会計当初予算についてでございます。

資料のほうの最後のほうになりますが、72ページを御覧ください。

先ほどと同様のA3横の資料でございます。こちらによって説明を行います。

こちら、先ほどの補正予算と同じく上のほうが収益的収入及び支出、下のほうが資本的収入及び支出となっております、左側が収入、右側が支出となっております。

上のほうの収益的収入及び支出でございます。

水道事業収益の予算額31億2,165万9,000円、内訳としまして、営業収益の給水収益25億5,652万5,000円、水道料金の収入となります。その他営業収益1億859万6,000円、下水道使用料の賦課徴収委託料等になります。

次に、営業外収益でございます。加入負担金1億4,528万5,000円、給水装置工事の申込みの際に収納するものでございます。

他会計補助金394万7,000円、福岡地区水道企業団へ支払う費用等で、構成団体からの収入となります。

次の長期前受金戻入2億9,254万2,000円、こちらのほうは受贈財産それから負担金等で取得しました資産の減価償却に値する分をここに計上することとなっております。

その他営業外収益1,476万4,000円、こちらのほうは受取利息等になります。

次に、右側のほうになりますが、水道事業費用でございます。

予算額28億4,396万8,000円となっております。営業費用の原水及び浄水費5億1,385万9,000円、こちらは浄水場の運転管理に係る経費となります。

配水及び給水費1億3,693万円、こちらのほうは配水池のほうから各御使用者のほうへ水を送るための経費となっております。

業務費4,632万1,000円、料金徴収に係る経費でございます。

総係費4億406万1,000円、企業団の全般的な管理事務を行う経費でございます。

議会費450万3,000円、監査費68万3,000円となっております。

受水費4億9,577万4,000円、福岡地区水道企業団からの受水に充てる費用でございます。

減価償却費10億3,168万3,000円、固定資産の減価償却費となります。

資産減耗費5,228万7,000円、管路更新等によりまして除却資産の残存価格を計上することとなっております。

次に、営業外費用です。補助金187万7,000円、こちらのほうは福岡地区水道企業団へ支出するものでございます。

支払い利息7,992万7,000円、企業債の償還利息でございます。

消費税及び地方消費税6,504万5,000円、雑支出としまして101万8,000円、過年度の水道料金、それから加入負担金の還付支払いに充てるものでございます。

予備費1,000万円。

以上が収益的収支でございます。

枠外のほうを御覧ください。

収益的収支。収入31億2,165万9,000円、支出は28億4,396万8,000円、収支差引きが2億7,769万1,000円、税抜き後の純利益が1億9,993万6,000円となっております。

次に、下の段、資本的収入及び支出でございます。

資本的収入は合計値としまして3億7,002万2,000円、内訳としまして、企業債の3億円、工事負担金494万8,000円、出資金、こちら福岡地区水道企業団へ支払うもので6,507万4,000円となっております。

次に、右側を御覧ください。

資本的支出でございます。

支出の合計14億9,697万2,000円、内訳としまして、建設改良費のうち水源浄水場施設整備費1億8,627万1,000円、浄水場施設の更新や整備に要するものでございます。配水施設整備費6億6,227万3,000円、配水管等の管路整備に要するものでございます。

次に、庁舎及び関連設備整備費3,837万2,000円、それから諸設備費2,072万3,000円、こちらは水道メーターの出庫でありますとか有形固定資産購入費に充てるものでございます。

次に、企業債償還金 5 億1,925万9,000円、企業債償還の元金でございます。

投資6,507万4,000円、福岡地区水道企業団へ出資するものでございます。

予備費の500万円。

それから、枠外の右側を御覧ください。

資本的収支。収入 3 億7,002万2,000円、支出14億9,697万2,000円、収入から支出を差し引きまして、不足額としまして11億2,695万円となります。

この不足額につきましては、その下に記載しております補填財源を御覧ください。

消費税資本的収支調整額7,654万6,000円、過年度留保資金等の10億5,040万4,000円で補填をいたします。

次に、議案第 3 号春日那珂川水道企業団監査委員の選任についてでございます。

ページ数としましては、75ページになります。

議案第 3 号につきましては、先ほど企業長の説明にもありましたように、当企業団監査委員 1 名の任期満了に伴いまして、後任の監査委員の選任について議会の同意を求めるものでございます。特にこの場での補足の説明はございません。

以上で補足説明を終わらせていただきます。

○金堂議長 これにて提案理由の説明及び補足説明は終わります。

以上で本日の日程は終了いたしました。

明日午後 2 時から本会議を開きます。

本日はこれにて散会いたします。

散会 14時22分